第27回原子力委員会
参考資料第２-２号

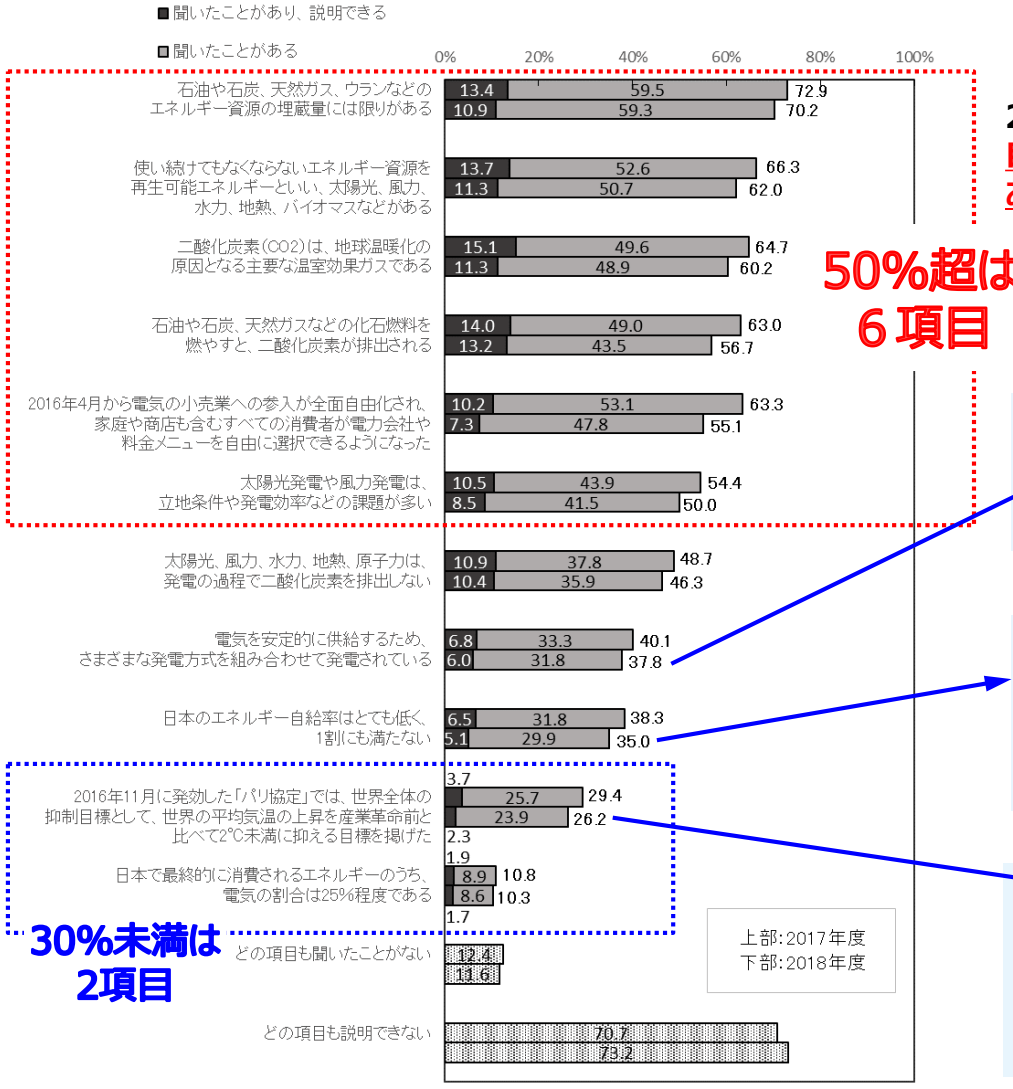
2018年度
世論調査にみる特徴的傾向

2019年７月

日本原子力文化財団

★エネルギー問題への関心の薄さが見える（2017～2018年度）

問４－１　「エネルギー・環境」の分野において、あなたが「聞いたことがあるもの」はどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）
問４－２　「問４－１で選択した事柄」のうち、あなたが「他の人に説明できるもの」はどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）



50%超は
6項目

30%未満は
2項目

2018年度の傾向

2017年度の結果と比較すると、すべての項目のポイントが減少
自己認識の情報保有量のため、「関心」が低下している可能性がある。

認知度の低い項目を訴求すべき

情報保有量が【低い】項目

エネルギーミックスの重要性の認知度は低い

特定のエネルギーに依存するのではなく、電力の安定供給や経済性、環境保全を同時に達成するためのバランスのとれた「エネルギーミックス」の重要性に関する認知度が低い。

エネルギー自給率の認知度は低い

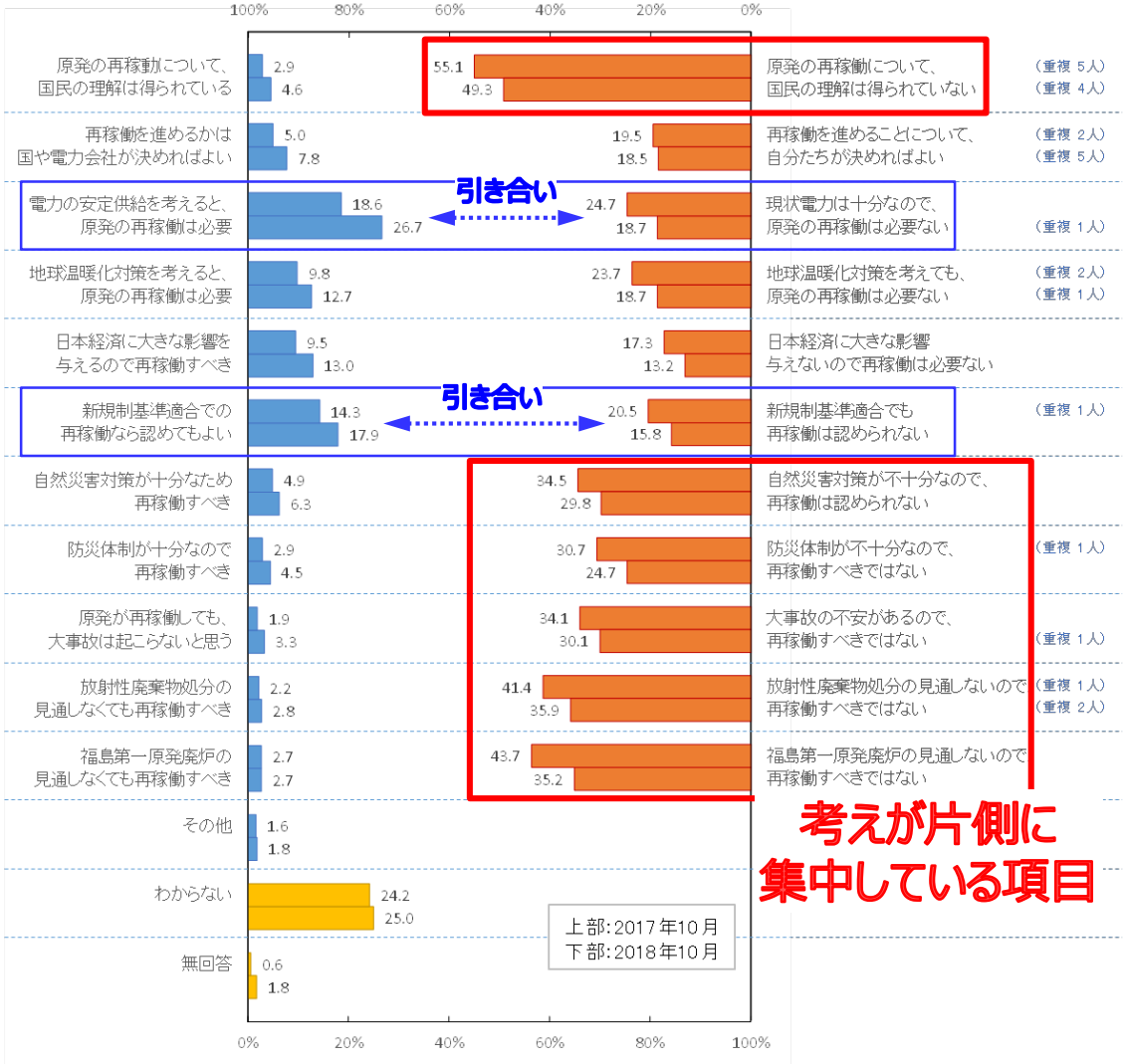
エネルギーは、私たちの生活や経済の基盤となる重要なもので、エネルギー資源を安定して、かつ低コストで確保していくことが重要だが、現在、日本が抱える課題の一つである「エネルギー自給率の低さ」の認知度が低い状況である。

地球温暖化の関心は高いが、具体的な事柄「パリ協定」の認知度は低い

地球温暖化は、関心の高い事柄であるが、地球温暖化のニュースとして挙げられる「パリ協定で採択された内容」については、認知度が低い（聞いたことがある：約26%）。

★再稼働が必要との認識は高まっている（2017年度～2018年度）

問8-2　原子力規制委員会による新規制基準への適合確認を通過した原子力発電所は、地元自治体の了解を得て、再稼働されることになります。
以下のような再稼働に関するご意見について、あなたのお考えにあてはまるものがありましたら、すべてお選びください。（○はいくつでも）

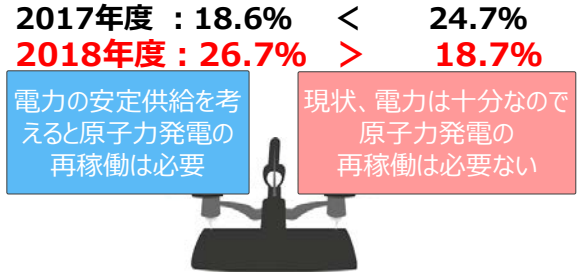


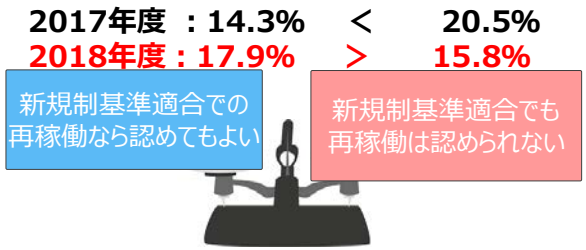
考えが片側に集中している項目

2018年度の傾向

- **再稼働に対して否定的な回答が集中している項目が６項目（赤枠）あり、これらの再稼働に対する考えを受け止め、今後の情報発信を検討すべき**
- **2017年度と2018年度の結果を比較すると、否定的な考えの多くの項目でポイントが減少し、肯定的な考えの多くの項目でポイントが増加**

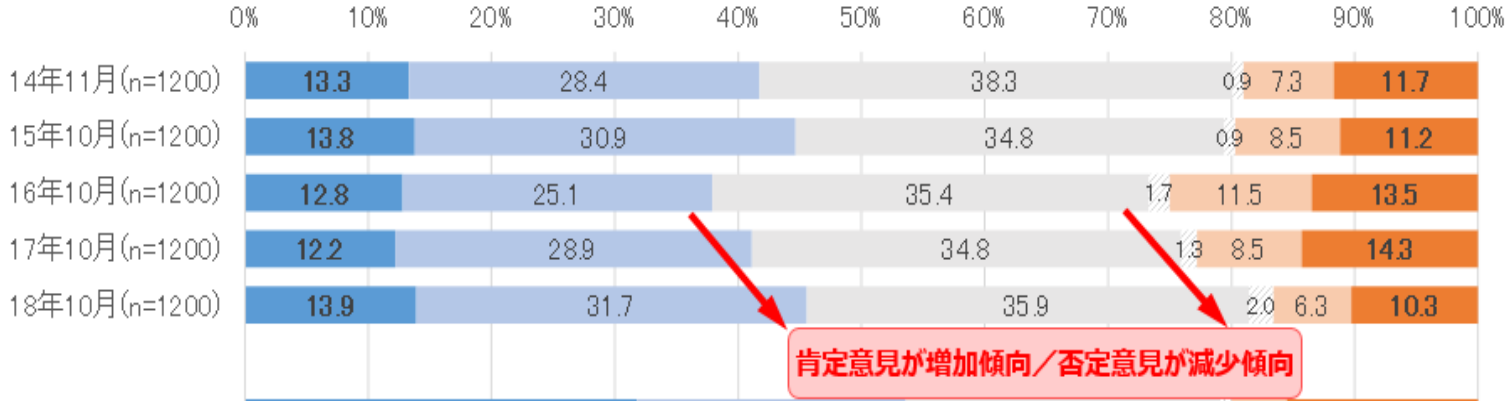
【肯定･否定の考えが「引き合い」の2項目】
否定的な意見が減少し、肯定的な意見が増加



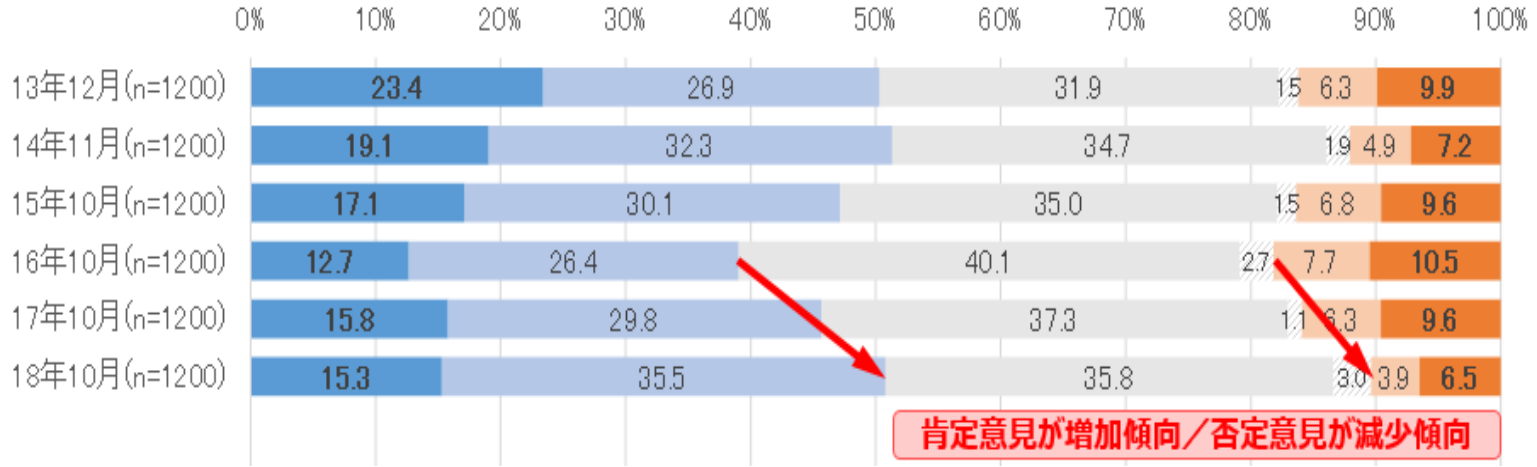


★原子力発電のベネフィット認知は高まってきている（2014年度～2018年度）

問10　あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ１つずつ）
ａ）　原子力発電は役に立つ

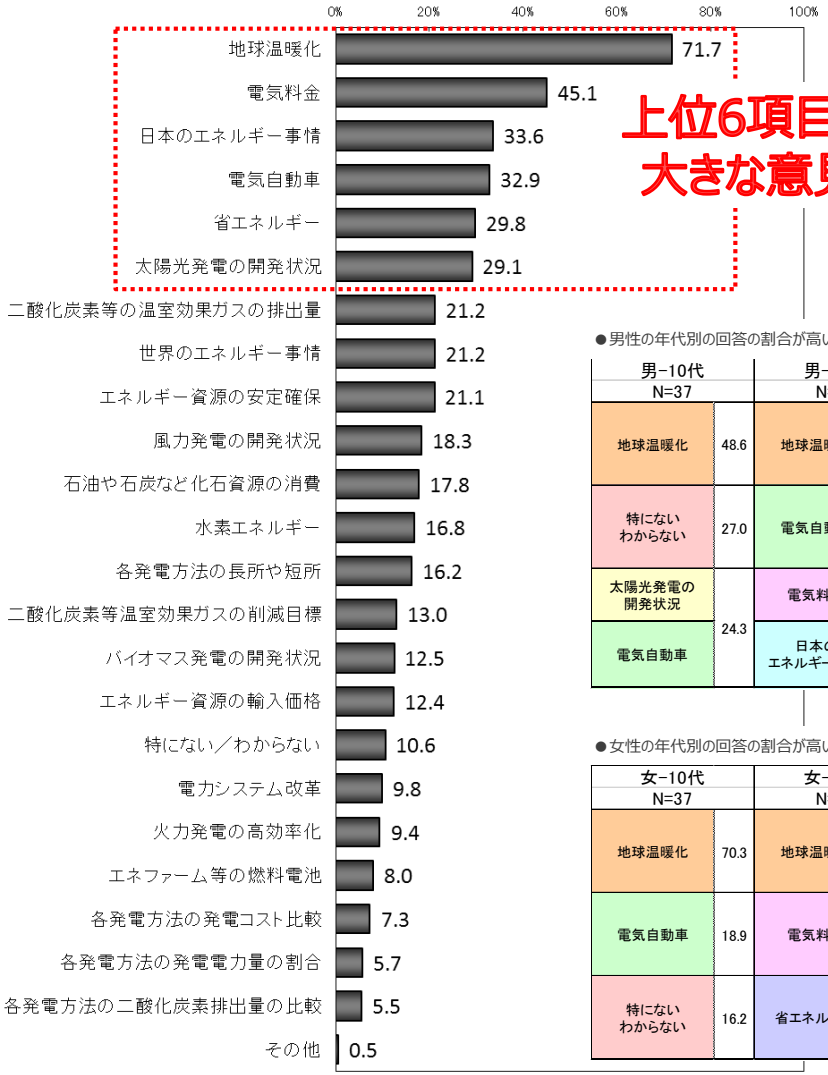


問10　あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ１つずつ）
ｄ）　原子力発電がないと、電気料金があがる



★地球温暖化への関心が高い（2018年度）

問3-1 「エネルギー・環境」の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）



上位6項目が大きな意見

若年層の関心は低い

男性・女性ともに、10代は「特にない／わからない」の回答の割合が高い

男性は、女性と比べて「電気自動車」に対する関心が高め

●男性の年代別の回答の割合が高い項目

男-10代 N=37		男-20代 N=75		男-30代 N=95		男-40代 N=111		男-50代 N=93		男-60代 N=108		男-70代 N=73	
地球温暖化	48.6	地球温暖化	56.0	地球温暖化	62.1	地球温暖化	64.9	地球温暖化	73.1	地球温暖化	72.2	地球温暖化	79.5
特にない わからない	27.0	電気自動車	36.0	電気料金	47.4	電気料金	45.0	電気料金	47.3	電気料金	54.6	太陽光発電の開発状況	52.1
太陽光発電の開発状況	24.3	電気料金	25.3	電気自動車	34.7	電気自動車	43.2	電気自動車	39.8	日本のエネルギー事情	50.0	温室効果ガスの排出量	41.1
電気自動車		日本のエネルギー事情										電気自動車	
												電気料金	

(%)

女性は、男性と比べて「省エネルギー」に対する関心が高め

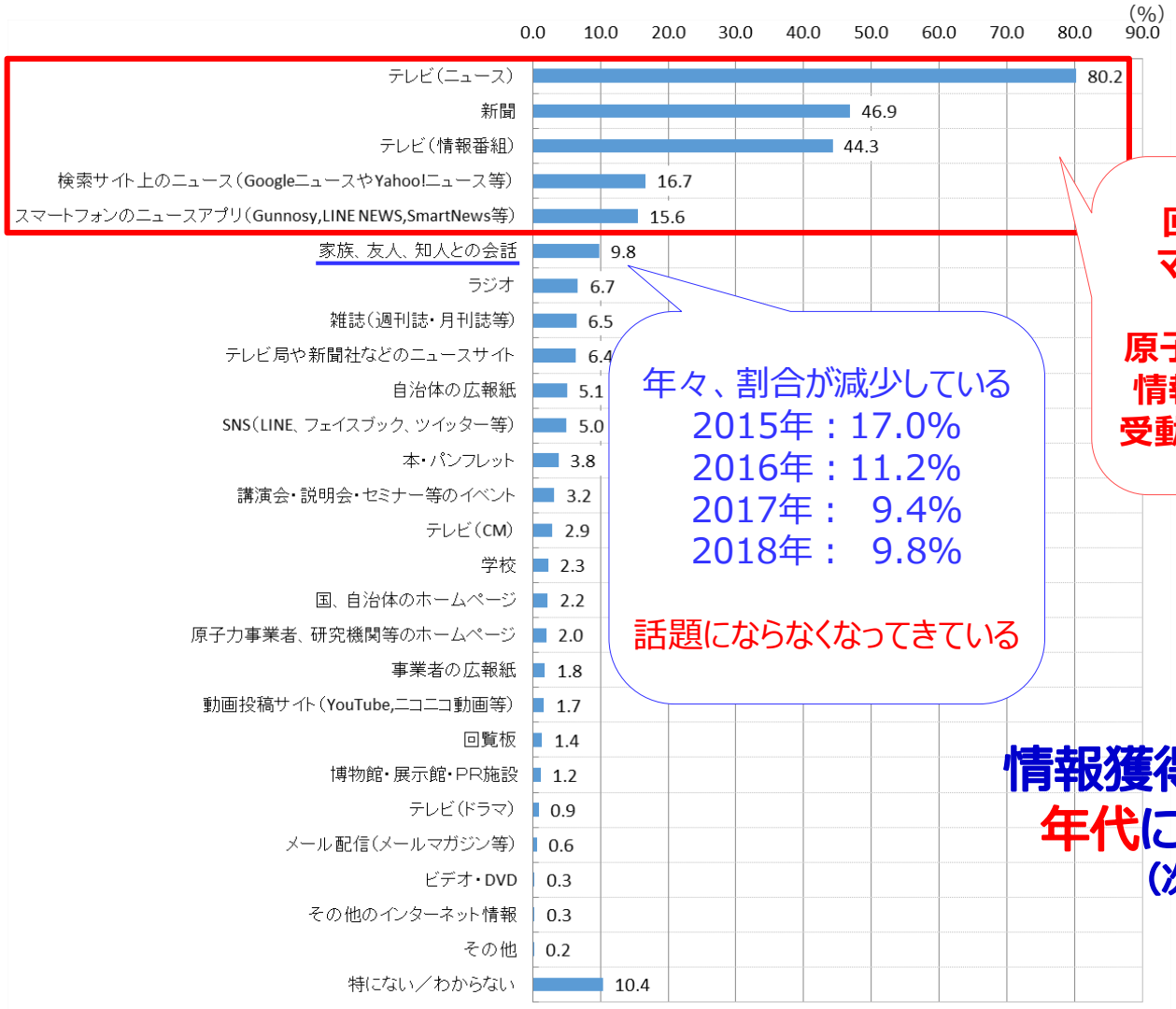
●女性の年代別の回答の割合が高い項目

女-10代 N=37		女-20代 N=73		女-30代 N=92		女-40代 N=110		女-50代 N=93		女-60代 N=114		女-70代 N=89	
地球温暖化	70.3	地球温暖化	61.6	地球温暖化	66.3	地球温暖化	80.9	地球温暖化	83.9	地球温暖化	86.0	地球温暖化	76.4
電気自動車	18.9	電気料金	45.2	電気料金	56.5	電気料金	48.2	電気料金	54.8	電気料金	51.8	日本のエネルギー事情	42.7
特にない わからない	16.2	省エネルギー	30.1	省エネルギー	40.2	省エネルギー	30.0	省エネルギー	36.6	日本のエネルギー事情	39.5	電気料金	40.4

(%)

★影響が大きいテレビ、新聞（2018年度）

問14　あなたは、ふだん原子力やエネルギー、放射線に関する情報を何によって得ていますか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）



年々、割合が減少している
2015年：17.0%
2016年：11.2%
2017年：　9.4%
2018年：　9.8%

話題にならなくなってきている

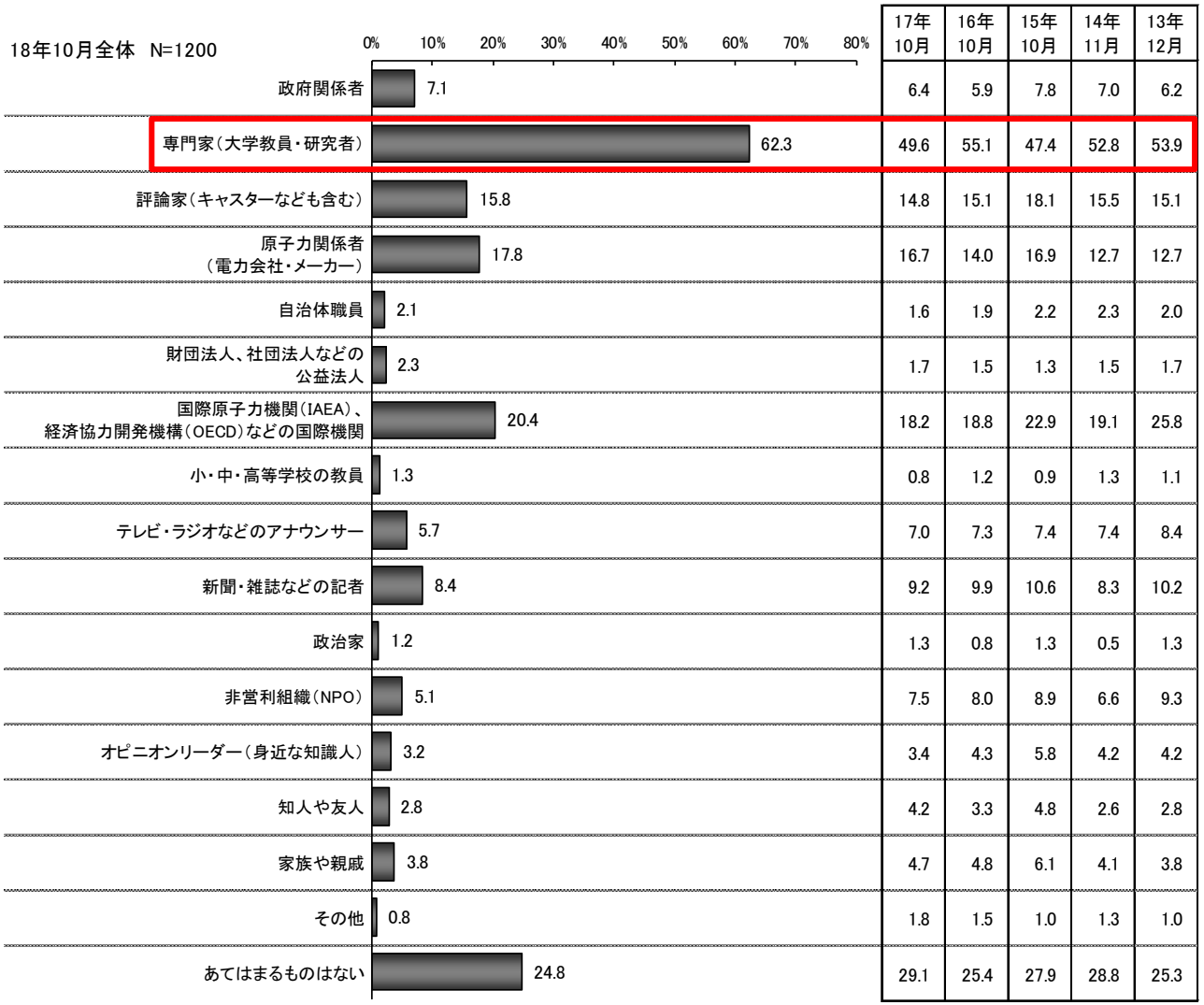
回答の上位の項目は、マスメディア経由の情報

原子力やエネルギーに関する情報はマスメディアを通して受動的に情報を獲得している

情報獲得行動に関しては年代による差が大きい
（次ページ参照）

★期待されている専門家（2013年度～2018年度）

問14　あなたは、原子力やエネルギー、放射線に関する情報について、どのような人や組織の発言を信頼しますか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）



	17年10月	16年10月	15年10月	14年11月	13年12月
政府関係者	6.4	5.9	7.8	7.0	6.2
専門家（大学教員・研究者）	49.6	55.1	47.4	52.8	53.9
評論家（キャスターなども含む）	14.8	15.1	18.1	15.5	15.1
原子力関係者（電力会社・メーカー）	16.7	14.0	16.9	12.7	12.7
自治体職員	1.6	1.9	2.2	2.3	2.0
財団法人、社団法人などの公益法人	1.7	1.5	1.3	1.5	1.7
国際原子力機関（IAEA）、経済協力開発機構（OECD）などの国際機関	18.2	18.8	22.9	19.1	25.8
小・中・高等学校の教員	0.8	1.2	0.9	1.3	1.1
テレビ・ラジオなどのアナウンサー	7.0	7.3	7.4	7.4	8.4
新聞・雑誌などの記者	9.2	9.9	10.6	8.3	10.2
政治家	1.3	0.8	1.3	0.5	1.3
非営利組織（NPO）	7.5	8.0	8.9	6.6	9.3
オピニオンリーダー（身近な知識人）	3.4	4.3	5.8	4.2	4.2
知人や友人	4.2	3.3	4.8	2.6	2.8
家族や親戚	4.7	4.8	6.1	4.1	3.8
その他	1.8	1.5	1.0	1.3	1.0
あてはまるものはない	29.1	25.4	27.9	28.8	25.3

専門家の情報への信頼度が高い

約5～6割が専門家から発信される
情報を信頼している
2018年度は、2017年度よりも
12.7ポイント上昇した

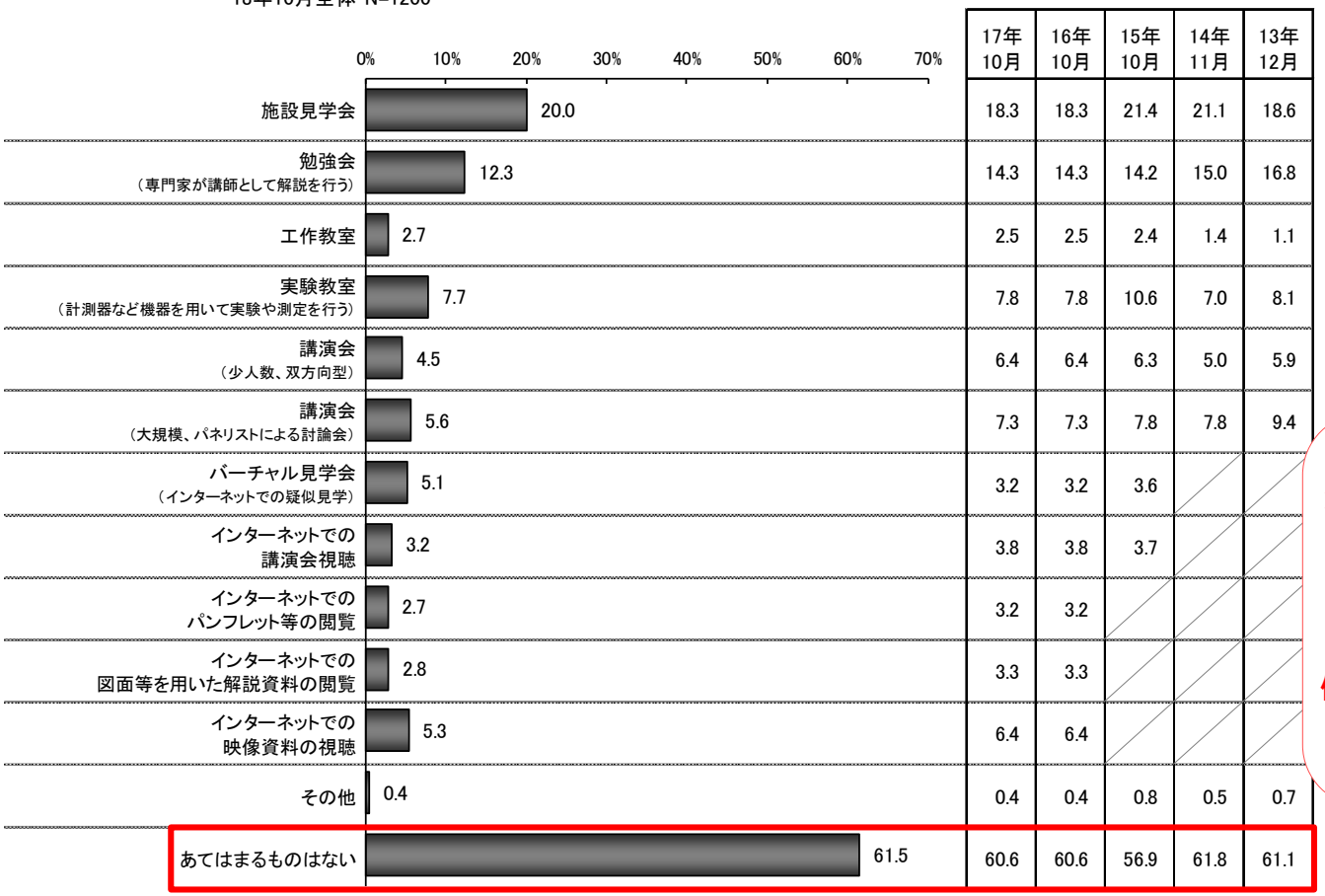
原子力等について
専門家から
情報発信する取り組みが
求められる

★施設見学会は、必要（2013年度～2018年度）

選択された中では、「施設見学会」や「勉強会」がやや高い割合を示したが、最も回答が多い項目は「あてはまるものはない」 2013年度から傾向は変わらない

問16-1 以下に挙げている「原子力やエネルギー、放射線に関する情報提供（イベントなど）」の中で、参加してみたいものや利用してみたいものはどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）

18年10月全体 N=1200



	18年10月	17年10月	16年10月	15年10月	14年11月	13年12月
施設見学会	20.0	18.3	18.3	21.4	21.1	18.6
勉強会（専門家が講師として解説を行う）	12.3	14.3	14.3	14.2	15.0	16.8
工作教室	2.7	2.5	2.5	2.4	1.4	1.1
実験教室（計測器など機器を用いて実験や測定を行う）	7.7	7.8	7.8	10.6	7.0	8.1
講演会（少人数、双方向型）	4.5	6.4	6.4	6.3	5.0	5.9
講演会（大規模、パネリストによる討論会）	5.6	7.3	7.3	7.8	7.8	9.4
バーチャル見学会（インターネットでの疑似見学）	5.1	3.2	3.2	3.6		
インターネットでの講演会視聴	3.2	3.8	3.8	3.7		
インターネットでのパンフレット等の閲覧	2.7	3.2	3.2			
インターネットでの図面等を用いた解説資料の閲覧	2.8	3.3	3.3			
インターネットでの映像資料の視聴	5.3	6.4	6.4			
その他	0.4	0.4	0.4	0.8	0.5	0.7
あてはまるものはない	61.5	60.6	60.6	56.9	61.8	61.1

原子力に関する知識の普及活動において大きな課題

「あてはまるものはない」が最も回答が多いという傾向は、現在の質問形式に変更した2013年度から変わらない